

公開実用 昭和63- 144667

③ 日本国特許庁(JP)

①実用新案出願公開

④ 公開実用新案公報(U)

昭63- 144667

⑤Int.Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

⑥公開 昭和63年(1988)9月22日

G 09 F 3/00
B 42 D 9/00
G 09 F 3/10

6810-5C
A-6548-2C
6810-5C

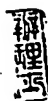
審査請求 未請求 (全 頁)

⑦考案の名称 しおりラベル

⑧実 願 昭62-37185

⑨出 願 昭62(1987)3月16日

⑩考 案 者 河 野 通 彦 東京都板橋区熊野町21番4号 新英産業株式会社内
⑪出 願 人 新英産業株式会社 東京都板橋区熊野町21番4号
⑫代 理 人 弁理士 田 中 宏



明 細 書

1. 考案の名称

しおりラベル

2. 実用新案登録請求の範囲

表面に適当な絵柄、文字等を表示し、その裏面の上辺又は下辺若しくは側辺の何れか一辺に接着剤を塗布したのり代を設けると共に、のり代部分を除いた部分のほぼ中央部にミシン目を設け折り畳み、切り離しを容易にしたしおりラベル

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は新規なラベルに関し、特にその一部を折り畳みもしくは切り離しを容易にしたしおりラベルに関する。

(従来の技術及び解決しようとする問題点)

従来、広く使用されているラベルは、その表面に適当な絵柄、文字等を表示し、裏面全面に接着剤を塗布したもので、該ラベルを容器に貼着して内容物を表示している。しかし、このようなラベルを用いて内容物を表示すると共にその一部に、

1032



例えば内容物の説明文、或は内容品が食物の場合その調製方法などの文章を印刷した場合にはラベルは容器と一体となっているためその文章が極めて読みにくいという欠点があった。

本考案者はこのような欠点を改良するため種々検討した結果、本発明を完成したもので本発明の目的はラベルの一部を折り畳みもしくは切り離しを容易にし、かつ、切り離した部分をしおりとして活用できるしおりラベルを提供するにある。

(問題点を解決するための手段)

すなわち、本考案は表面に適当な絵柄、文字等を表示し、その裏面の上辺又は下辺若しくは側辺の何れか一辺に接着剤を塗布したのり代を設けるとともに、のり代部分を除いた部分のほぼ中央部にミシン目を設け折り畳み、切り離しを容易にしたしおりラベルに関するものである。

図面について説明すると、第1図は本考案に係るラベルの表面を、第2図はその裏面のそれぞれの平面図、第3図は容器に貼着した使用状態の説明図である。すなわち、しおりラベル1ののり代



部分を除いたほゞ中央部にミシン目2を設け、そのミシン目より上段部の表面には例えば内容品を表示した商品名などの文字を記載し、下段部にはその商品についての説明文を記載し、ラベルの裏面には第2図に示すようにその上辺部にのみ接着剤を塗布したのり代3を設ける。また、第4図はラベル裏面の側辺にのり代3を設けた場合を示す。しかして、本考案のラベルの使用に当っては、例えば第1図のものは第3図に示すように下段部を折り畳み上段部の商品名等の文字のみが見えるように容器の一部に貼着する。

(効果)

以上、述べたように、本考案にかゝるしおりラベルは糊代部分を除いたほゞ中央部に設けたミシン目より一部分を折り畳んで使用するため他の部分に印刷した商品名等の文字、絵柄は見る者に強く印象づけることができると共に折り畳んだ部分は切り離して容器と別個にできるのでそこに印刷された文章は読みやすく、しおりとして活用できる等の効果を奏するのである。



4. 図面の簡単な説明

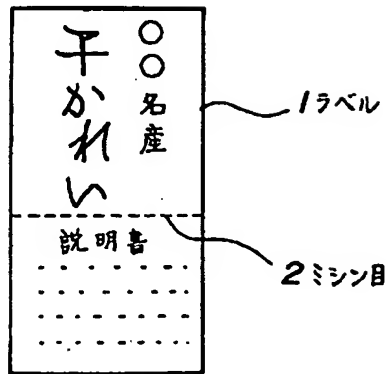
第1図は本考案にかゝるしおりラベルの表面の平面図、第2図はその裏面の平面図、第3図は使用状態の説明図である。第4図は本考案にかゝる他のしおりラベルの説明図である。

- | | |
|-------|--------|
| 1…ラベル | 2…ミシン目 |
| 3…のり代 | 4…容器 |

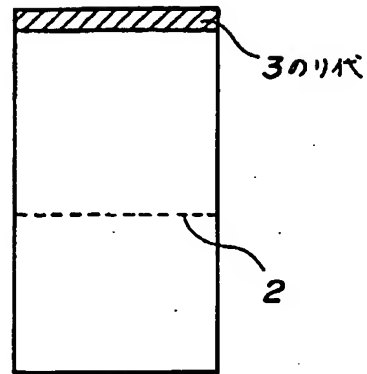
出願人 新英産業株式会社

代理人 弁理士 田 中 宏

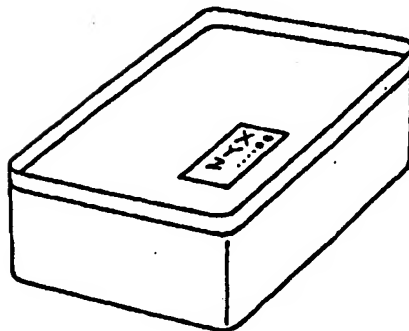
第 1 図



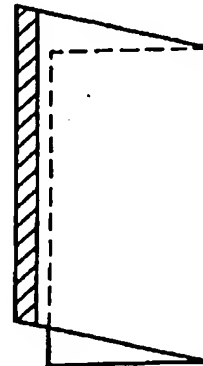
第 2 図



第 3 図



第 4 図



代理人 田中 宏 1036

実開 63-144667

公開実用 昭和63- 144667

⑤ 日本国特許庁(JP)

⑩ 実用新案出願公開

④ 公開実用新案公報(U) 昭63-144667

⑥ Int. Cl.⁴

識別記号

庁内整理番号

④ 公開 昭和63年(1988)9月22日

G 09 F 3/00
B 42 D 9/00
G 09 F 3/10

6810-5C
A-6548-2C
6810-5C

審査請求 未請求 (全 頁)

④ 考案の名称 しおりラベル

④ 実 願 昭62-37185

④ 出 願 昭62(1987)3月16日

④ 考 案 者 河 野 通 彦 東京都板橋区熊野町21番4号 新英産業株式会社内
④ 出 願 人 新英産業株式会社 東京都板橋区熊野町21番4号
④ 代 理 人 弁理士 田 中 宏



明 細 書

1. 考案の名称

しおりラベル

2. 実用新案登録請求の範囲

表面に適当な絵柄、文字等を表示し、その裏面の
上辺又は下辺若しくは側辺の何れか一辺に接着
剤を塗布したのり代を設けると共に、のり代部分
を除いた部分のほぼ中央部にミシン目を設け折り
畳み、切り離しを容易にしたしおりラベル

3. 考案の詳細な説明

(産業上の利用分野)

本考案は新規なラベルに関し、特にその一部を
折り畳みもしくは切り離しを容易にしたしおりラ
ベルに関する。

(従来技術及び解決しようとする問題点)

従来、広く使用されているラベルは、その表面
に適当な絵柄、文字等を表示し、裏面全面に接着
剤を塗布したもので、該ラベルを容器に貼着して
内容物を表示している。しかし、このようなラベ
ルを用いて内容物を表示すると共にその一部に、



例えば内容物の説明文、或は内容品が食物の場合その調製方法などの文章を印刷した場合にはラベルは容器と一体となっているためその文章が極めて読みにくいという欠点があった。

本考案者はこのような欠点を改良するため種々検討した結果、本発明を完成したもので本発明の目的はラベルの一部を折り畳みもしくは切り離しを容易にし、かつ、切り離した部分をしおりとして活用できるしおりラベルを提供するにある。

(問題点を解決するための手段)

すなわち、本考案は表面に適当な絵柄、文字等を表示し、その裏面の上辺又は下辺若しくは側辺の何れか一辺に接着剤を塗布したのり代を設けるとともに、のり代部分を除いた部分のほぼ中央部にミシン目を設け折り畳み、切り離しを容易にし、しおりラベルに関するものである。

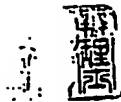
図面について説明すると、第1図は本考案に係るラベルの表面を、第2図はその裏面のそれぞれの平面図、第3図は容器に貼着した使用状態の説明図である。すなわち、しおりラベル1ののり代



部分を除いたほゞ中央部にミシン目 2 を設け、そのミシン目より上段部の表面には例えば内容品を表示した商品名などの文字を記載し、下段部にはその商品についての説明文を記載し、ラベルの裏面には第 2 図に示すようにその上辺部にのみ接着剤を塗布したのり代 3 を設ける。また、第 4 図はラベル裏面の側辺にのり代 3 を設けた場合を示す。しかして、本考案のラベルの使用に当っては、例えば第 1 図のものは第 3 図に示すように下段部を折り畳み上段部の商品名等の文字のみが見えるように容器の一部に貼着する。

(効果)

以上、述べたように、本考案にかゝるしおりラベルは糊代部分を除いたほゞ中央部に設けたミシン目より一部分を折り畳んで使用するため他の部分に印刷した商品名等の文字、絵柄は見る者に強く印象づけることができると共に折り畳んだ部分は切り離して容器と別個にできるのでそこに印刷された文章は読みやすく、しおりとして活用できる等の効果を奏するのである。



4. 図面の簡単な説明

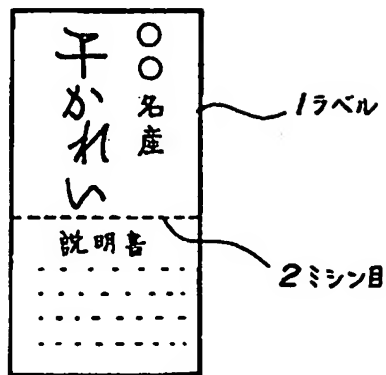
第1図は本考案にかゝるしおりラベルの表面の平面図、第2図はその裏面の平面図、第3図は使用状態の説明図である。第4図は本考案にかゝる他のしおりラベルの説明図である。

- | | |
|---------|----------|
| 1 … ラベル | 2 … ミシン目 |
| 3 … のり代 | 4 … 容 器 |

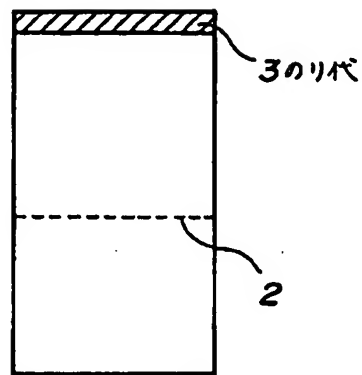
出願人 新 英 産 業 株 式 会 社

代理人 弁 理 士 田 中 宏

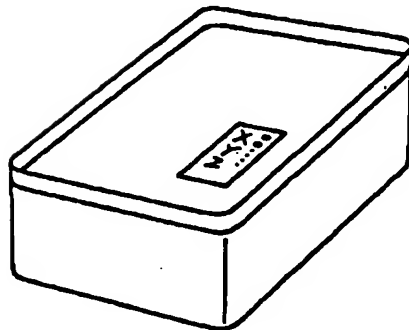
第 1 図



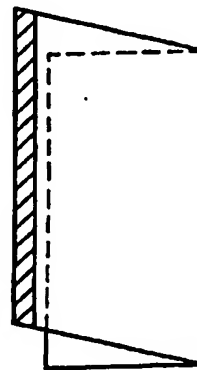
第 2 図



第 3 図



第 4 図



代理人 田中 宏 1036

実開 63-144667